

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----  
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 115 号 2016.12.25  
□ ■ □ -----

12月10日(土)、こどもとしょかんで「チーバくんとぬいぐるみおとまり会」を開催しました。今回はチーバくんも参加して、ととにもぎやかな会になりました。参加してくれたぬいぐるみは37体。おはなし会の後、ぬいぐるみは子どもたちと別れて図書館にお泊りです。1週間後、お迎えに来た子どもたちの笑顔が印象的でした。

今年も残すところあと1週間となりました。皆様よいお年をお迎えください。

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆ 年末年始休館のお知らせ

○ 市川市の図書館は、12月28日(水)から1月4日(水)まで年末年始のため全館休館となります。1月5日(木)より通常どおり開館いたします。

○ 年末年始も図書館の返却ポストはご利用いただけますが、返却処理は1月4日(水)以降になりますのでご注意ください。また関連施設の返却ポストのご利用はできません。

詳細につきましては図書館ホームページでご確認ください。

返却ポストのご案内はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/guide/1005.html>

◆ 図書蔵書検索・予約システム一時停止のお知らせ

○ 生涯学習センター法定停電およびネットワーク保守点検のため、図書館 Web サービスが停止します。

<停止日時> 12月28日(水) 16時～12月29日(木) 21時

大変ご不便をおかけしますが、よろしく願いいたします。

◆ 「図書館だより No.96」を発行しました。

○ 今号の特集は、“ご存知ですか？ スマホ版ホームページ”です。

○「図書館だより」は各図書館で配布しているほか、図書館ホームページからもご覧になれます。

「図書館だより No.96」はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1008.html>

◆「おんな城主 直虎」関連講座のご案内

平成 29 年 NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」放映にあわせ、関連の講座を行います。講師は『おんな領主井伊直虎』（KADOKAWA 2016）の著者で市内在住の渡邊大門氏。直虎の調査研究に際し、図書館をどのように利用してきたかなど、その有効な活用方法についてもお話しいただきます。

<日時> 1 月 27 日（金）14 時～16 時

<場所> 生涯学習センター（メディアパーク市川）地下集会室

<講師> 渡邊大門氏（株式会社歴史と文化の研究所代表）

<募集人員> 26 名 \*申し込み多数の場合は抽選になります。

<申込> 中央図書館（〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4）に往復はがきで応募

\*往面に住所・氏名・電話番号及び返信用の宛先をご記入ください。

<締切> 1 月 10 日（火）必着

■ ■ 新春福袋のお知らせ □ -----

◆「福袋」を借りてみませんか？

○毎年ご好評をいただいている「福袋」を、2017 年も実施します！

図書館職員が色々なテーマで選んだ本を福袋に詰めました。お好みの福袋を選んでお借りください。

どんな本が入っているかは借りてからの楽しみ！（本のプレゼントではありません。貸出期間は 2 週間です）

★中央図書館／こどもとしょかん

<日時> 1 月 5 日（木）～

<内容> 一般（大人）向け・中高生向け・子ども向け

★行徳図書館

<日時> 1 月 5 日（木）～

<内容> 一般（大人）向け・中高生向け・子ども向け

★信篤図書館

<日時>1月5日(木)～

<内容>一般向け・子ども向け

福袋はなくなり次第、終了となります。お早目にどうぞ！

■■■ 読んでみませんか―百人一首とかるたの世界― □……………

○お正月にはのんびりと百人一首やかるたを楽しむ、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

○百人一首とは、100人の歌人の和歌を、一人の歌人につき一首ずつ選んでつくった秀歌撰です。百人一首はいくつかありますが、中でも、藤原定家が京都・小倉山の山荘で選んだとされる小倉百人一首が「歌がるた」として広く用いられています。「歌がるた」は、100枚の読み札と同数の取り札の計200枚から成っています。

○百人一首かるたは、江戸時代ポルトガルから伝来したカードゲームをもとに日本で作られた天正かるたと、日本古来の遊び「貝覆い」のふたつから発展したものとされています。貝覆いはハマグリの一方の貝殻をもう一方の貝殻と合わせる遊びで、貝の内側に絵や和歌が描かれるようになり、これが百人一首かるたのもとになったと考えられています。

○江戸時代には手描きで大変高価であったかるたも、15世紀後半ごろに大量生産のできる版木刷りのかるたが販売されると庶民にも広く親しまれるようになりました。

○明治の初めごろには、それまで上の句と下の句が読み札と取り札にわかれていたものが、読み札に一首すべてを書くようになりました。これにより、和歌を暗記していない人にも楽しめるようになり、競技かるたも誕生しました。

○百人一首かるたには「競技かるた」の他に、「散らし取り」「逆さまかるた」「源平合戦」「坊主めぐり」などいろいろな遊び方があります。

○百人一首かるたに関連した本をご紹介します

◇『図説百人一首』石井正己／著（河出書房新社 2006）

現存最古とされる道勝法親王筆「百人一首絵入歌カルタ」とともに、百人一首の百首すべてについてわかりやすく解説しています。歌仙絵や錦絵もふんだんに盛り込まれていて、視覚的にも楽しめる一冊です。

◇『百人一首かるたの世界』吉海直人／著（新典社 2008）

人気のゲームとして大衆に広く親しまれている百人一首かるたの文化的変遷を、美術的価値のあるかるたから安価で広範に流布しているかるたまで、様々な種類のかるたを題材に論じています。著者所蔵のかるたを図版として多数掲載。

◇『かるた』NHK「美の壺」制作班／編（日本放送出版協会 2008）

江戸時代の初期、もっぱら見て楽しむための美術品であった「百人一首かるた」。嫁入り道具のひとつであったかるたに、上流階級の人びとは惜しみなく贅を尽くしました。この本では江戸時代の華やぎを伝える歌かるたの他にも「いろはかるた」や「花札」など、遊ぶだけではなく鑑賞して楽しめるかるたを紹介しています。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

---

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346

---